

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	原価計算1（Cost Accounting 1）					担当教員	中村 大輔 （ナカムラ ダイスケ）		
科目コード	393128-14600								
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>原価計算は、企業における特定の経済活動単位についての、原価と給付を比較計算する事である。原価計算は販売価格の設定だけにとどまらず、コストの削減や原価の作り込みなど、財務会計目的だけではなく管理会計目的としても重要である。換言すれば原価計算は企業経営者の業務的ないし構造的（戦略的）意思決定に必要不可欠な知識でもある。本講義は日商簿記1級の「工業簿記・原価計算」に対応し、特に原価計算1では個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算について学ぶ。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
日商簿記2級の工業簿記をベースとして日商1級範囲の原価計算を学ぶ。2級工業簿記（工業簿記1・2）の復習をしておくこと									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
工業簿記1・2に続く科目である。日商簿記2級工業簿記が理解できない場合、授業内容は理解できないため、これらの内容を学んだことがある学生が対象である。「原価計算2」と共に履修することが望ましい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 日商1級相当の個別原価計算を理解し、該当分野の問題が解答できる</p> <p>(ii) 日商1級相当の総合原価計算を理解し、該当分野の問題が解答できる</p> <p>(iii) 日商1級相当の標準原価計算を理解し、該当分野の問題が解答できる</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
岡本清・廣本敏郎編著(2020)『検定簿記講義 1級工業簿記・原価計算<上巻> 2020年版』中央経済社（2021年度版が発行されればそちらを利用する）									
⑦ 参考図書・指定図書									
岡本清(2000)『原価計算（六訂版）』国元書房									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 日商1級相当の個別原価計算を理解し、該当分野の問題が解答できる	26.6%	6.6%						33.3%
(ii) 日商1級相当の総合原価計算を理解し、該当分野の問題が解答できる	26.6%	6.6%						33.3%
(iii) 日商1級相当の標準原価計算を理解し、該当分野の問題が解答できる	26.6%	6.6%						33.3%
フィードバックの方法	授業中の小テストは採点して返却・解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
できるだけ多くの問題に触れ、各自で原価計算が実施できるレベルに到達できるように進めたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス	テキスト、電卓	工業簿記1・2で使用したテキストの全体を概観し、工業簿記全体を復習しておく。	60分
2	工業簿記総説	テキスト、電卓	教科書を読んで工業簿記および原価計算の全体像を理解する。	60分
3	工業簿記の構造	テキスト、電卓	教科書を読んで、工業簿記の勘定連絡と財務諸表を理解しておく。	60分
4	材料費	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2級範囲の材料費の復習をしておく。	60分
5	労務費	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2級範囲の労務費の復習をしておく。	60分
6	経費	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2級範囲の経費の復習をしておく。	60分
7	製造間接費	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2級範囲の製造間接費の復習をしておく。	60分

8	個別原価計算	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2 級範囲の個別原価計算の復習をしておく。	60 分
9	部門別計算	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2 級範囲の部門別計算の復習をしておく。	60 分
10	仕損・作業屑	テキスト、電卓	特に 2 級範囲の仕損費の処理方法について復習しておく。	60 分
11	総合原価計算の基礎	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2 級範囲の単純総合原価計算の復習をしておく。	60 分
12	工程別・組別・等級別総合原価計算	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2 級範囲の総合原価計算の復習をしておく。	60 分
13	副産物と連産品	テキスト、電卓	教科書を読み、特に副産物、連産品、作業屑の違いを理解しておく。	60 分
14	標準原価計算	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2 級範囲の標準原価計算の復習をしておく。	60 分
15	工場会計の独立	テキスト、電卓	教科書を読むと共に、2 級範囲の本社工場会計の復習をしておく。	60 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性